

令和 3 年度
宝塚市水道事業会計補正予算書
(2)

宝塚市上下水道局

議案第58号

令和3年度宝塚市水道事業会計補正予算（第2号）

令和3年度宝塚市水道事業会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（収益的支出の補正）

第1条 令和3年度宝塚市水道事業会計予算第3条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

		支 出		
（ 科 目 ）		（既決予算額）	（補正予定額）	（ 計 ）
第1款	水道事業費用	5,468,260千円	△110,034千円	5,358,226千円
第3項	特別損失	278,304千円	△110,034千円	168,270千円

（資本的収入及び支出の補正）

第2条 令和3年度宝塚市水道事業会計補正予算（第1号）第2条本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,183,357千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額171,935千円及び過年度分損益勘定留保資金1,011,422千円で補てんする」を「資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,183,357千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額134,572千円及び過年度分損益勘定留保資金1,048,785千円で補てんする」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

		収 入		
（ 科 目 ）		（既決予算額）	（補正予定額）	（ 計 ）
第1款	資本的収入	2,224,344千円	△411,000千円	1,813,344千円
第1項	企業債	1,553,000千円	△411,000千円	1,142,000千円
		支 出		
（ 科 目 ）		（既決予算額）	（補正予定額）	（ 計 ）
第1款	資本的支出	3,407,701千円	△411,000千円	2,996,701千円
第1項	建設改良費	1,993,140千円	△411,000千円	1,582,140千円

(企業債)

第3条 令和3年度宝塚市水道事業会計補正予算(第1号)第4条企業債の限度額
1,553,000千円を1,142,000千円に改める。

令和4年(2022年)2月24日提出

宝塚市長 山崎 晴 恵

補正予算に関する説明書

(2)

令和3年度宝塚市水道事業会計補正予算（第2号）実施計画

収益的支出

支出 (千円)

款	項	目	既決予算額	補正予定額	計	備考
1	水道事業費用		5,468,260	△ 110,034	5,358,226	
	3	特別損失	278,304	△ 110,034	168,270	
		2 固定資産除却損	276,304	△ 110,034	166,270	旧局庁舎建物除却費用

資本的収入及び支出

収入 (千円)

款	項	目	既決予算額	補正予定額	計	備考
1	資本的収入		2,224,344	△ 411,000	1,813,344	
	1	企業債	1,553,000	△ 411,000	1,142,000	
		1 企業債	1,553,000	△ 411,000	1,142,000	配水池加圧所耐震化工事等

支出 (千円)

款	項	目	既決予算額	補正予定額	計	備考
1	資本的支出		3,407,701	△ 411,000	2,996,701	
	1	建設改良費	1,993,140	△ 411,000	1,582,140	
		2 原水及び浄水施設費	189,687	△ 80,000	109,687	浄水施設受変電設備強化事業
		3 送水及び配水施設費	1,405,590	△ 331,000	1,074,590	配水池加圧所耐震化工事等

令和3年度 宝塚市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
人件費支出	△ 810,648
受水費支出	△ 1,365,334
商品又はサービスの購入による支出	△ 1,224,183
水道料金収入	3,903,520
分担金収入	208,683
一般会計からの繰入金による収入	17,058
国庫補助金による収入	6,666
小計	<u>735,762</u>
利息の受取額	1,982
利息の支払額	△ 185,304
預り金の受取額	2,137,859
預り金の支払額	△ 2,138,094
その他の収入	197,991
その他の支出	<u>△ 363,785</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	386,411
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 1,624,140
有形固定資産の売却による収入	648,433
一般会計からの繰入金による収入	10,179
国庫補助金による収入	9,409
工事負担金による収入	18,300
国債等の償還による収入	300,000
国債等の購入による支出	△ 500,000
長期貸付金の貸付による支出	△ 300,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 1,437,819</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債による収入	1,142,000
企業債の償還による支出	<u>△ 584,560</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	557,440
資金増加額	△ 493,968
資金期首残高	<u>4,030,269</u>
資金期末残高	<u><u>3,536,301</u></u>

注記事項

- I 資金の範囲
資金期末残高と予定貸借対照表に掲記されている現金預金は一致している。

注記事項

I 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

満期保有目的債券 原価法

(2) たな卸資産

貯蔵品 先入先出法による低価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法

・主な耐用年数

建物	10～50年	車両運搬具	4～6年
構築物	7～60年	工具器具及び備品	4～15年
機械及び装置	8～20年		

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法

・主な耐用年数

施設利用権	50年
ソフトウェア	5年

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額と兵庫県市町村職員退職手当組合に対する積立金不足相当額（協定書に基づく病院事業に対する総支払額を控除した額）の合計額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込み額に基づき、当年度の負担に属する額（賞与引当金の計上に伴い必要となる法定福利費見込額を含む。）を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績額による回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II リース契約により使用する固定資産

1 オペレーティング・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内 77,571,120円 1年超 19,392,780円 計 96,963,900円

III 減損損失

1 グルーピングの方法

(1) 水道事業に使用している固定資産

水道事業に使用している固定資産は、その全てが一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、全体を1つの資産グループとしている。

(2) その他の固定資産

それ以外の固定資産については、個別の資産毎としている。

2 減損の兆候

当年度において、1のグルーピングをもとに、以下の遊休資産について、減損の兆候を認識した。

資産の種類	場所(地番)
土地及び構築物	兵庫県宝塚市高松町184番8

3 減損損失の認識及び測定について

当年度において、上記資産について、減損の認識の判定を行った結果、回収可能価額が帳簿価額を上回っているため、減損損失を認識していない。回収可能価額は、地価及び使用価値により測定しており、地価については国土交通省の公示価格を参考に合理的に算定した価額、使用価値については構築物の経済的残存使用年数に年間使用料収入を乗じて算出した額を用いている。

補正予算に関する資料

(2)

収 益 の 支 出

支出

(千円)

項	目	節	既決予算額	補正予定額	計	備 考
3	特別損失		278,304	△ 110,034	168,270	
	2	固定資産除却損	276,304	△ 110,034	166,270	
		固定資産除却損	276,304	△ 110,034	166,270	旧局庁舎建物除却費用

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収入

(千円)

項	目	節	既決予算額	補正予定額	計	備 考
1	企業債		1,553,000	△ 411,000	1,142,000	
	1	企業債	1,553,000	△ 411,000	1,142,000	
		企業債	1,553,000	△ 411,000	1,142,000	配水池加圧所耐震化工事等

支出

(千円)

項	目	節	既決予算額	補正予定額	計	備 考
1	建設改良費		1,993,140	△ 411,000	1,582,140	
	2	原水及び浄水施設費	189,687	△ 80,000	109,687	
		工事請負費	110,000	△ 80,000	30,000	浄水施設受変電設備強化事業
	3	送水及び配水施設費	1,405,590	△ 331,000	1,074,590	
		工事請負費	1,231,000	△ 331,000	900,000	配水池加圧所耐震化工事等